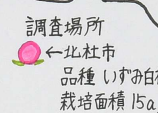
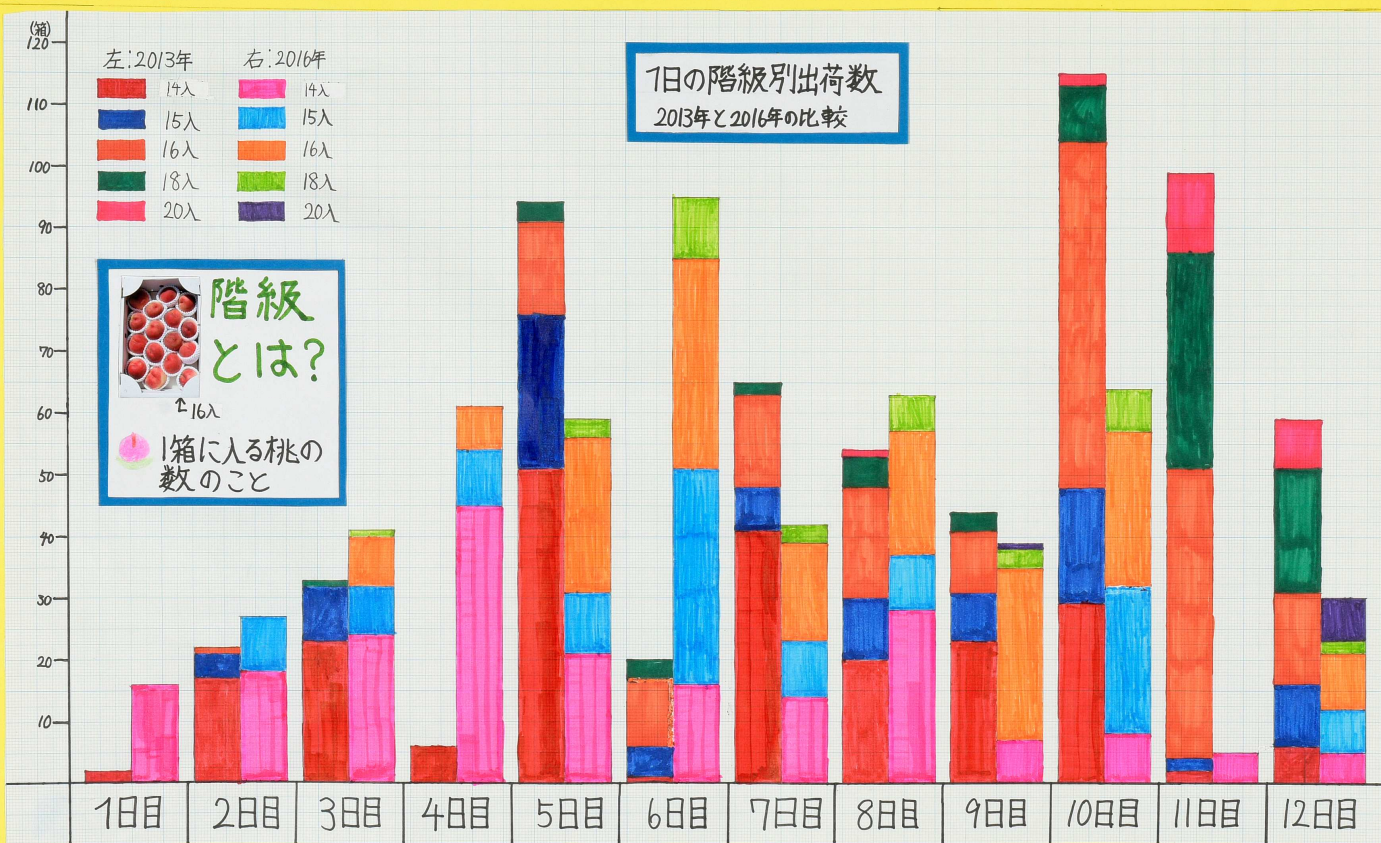


おばあちゃんの桃の出荷数 2013年 2016年 の比較

調査場所
 ←北杜市
 品種 いすの白桃
 栽培面積 15a



日にちごとの出荷推移にあまり変化はない。

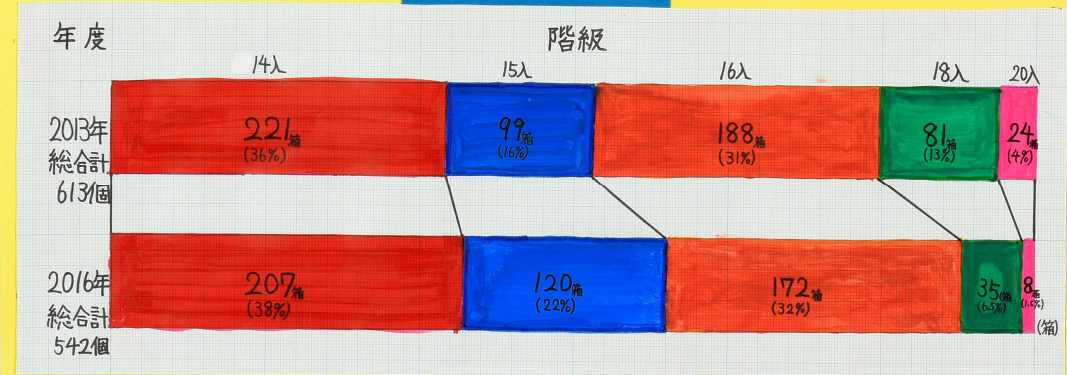


〈考察〉
 2013年に祖母が栽培している桃について統計をとった。3年前と今年は桃の出荷数に変化しているか気になり、今回調べてみた。すると、桃の木は樹齢約40年以上の老木のため、栽培している本数が10本減少していた。そのため3年前より総出荷数は71箱減っていた。木の本数が減少していたことには驚いた。木が減ったが、総出荷数も減らしていると思っていたので、71箱は意外に少なかった。

調査日 2013年7月24日～8月7日(1・3・6日は出荷休み) 2016年7月18日～31日(23・26日は出荷休み)



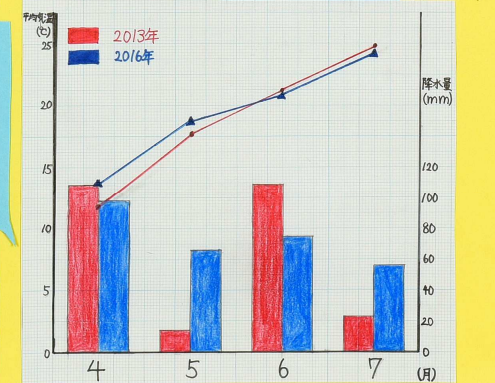
全体の出荷量の比較



2013年は5月と7月の降水量が少ないため、小さい桃が多かった。しかし、今年は降水量にあまり変化がなかったため、小さい桃が少なかった。気温はあまり変わらない。

全体の出荷量を見ると、桃の個数が減ったのは、桃が老木になってしまったから。

気温と降水量の比較 (4月～7月)



・今年の階級別出荷数を比較してみると、14・15の階級の桃が多かった。摘果をして1本の木に実る桃の数を少なくすることによって、桃は大きく育つため、14・15の階級が多くなる。

・このように、祖母は工夫して桃作りをしていた。桃の木は老木になり、祖母も年を取ってきているので、今後はどうなるかわからないがこれから木について調べていきたい。